

県政・市政報告会in和田 市政報告



中津市議会議員 大塚正俊

2013. 8. 7

「昨年の7月豪雨災害から1年、 早期復旧に向けて頑張ります！」

昨年7月、かつて経験したことのない豪雨による山国川他の河川の氾濫等により、行方不明者1名、家屋の全壊・半壊、床上・床下浸水の被害や道路への崩土、路肩や橋りょうの損壊、農地災害等の被害が多数発生しました。

その豪雨災害から1年。やりきれない深い悲しみを乗り越え、現地では地域の方々の変わらぬ郷土愛と絆、皆様方からの温かい支援のもとで、順次復旧・復興が進められています。

この教訓を活かし、二度とあのような災害を繰り返さないために、防災に関する施策を積極的に実施させ、安全で安心な住みよいまちづくりに向けて頑張ります。



昨年の本耶馬溪青地区の様子

6月定例市議会的一般質問の概要

1. 道の駅の整備、運営のあり方

中津市では、現在国道10号線沿いの加来地区に、JA直売所、食の広場、情報休憩施設、トイレ、駐車場、遺跡公園、防災倉庫を整備が一体となった道の駅の整備を進めており、平成26年4月には遺跡公園、食の広場を除いてオープンを予定しています。

道の駅は、今年4月1日現在、全国に1004箇所指定されています。



敷地面積; 22, 479m²
総事業費; 約8億3000万円
内JA2億2000万円

(1)道の駅のセールスポイントについて

中津には、海・平野・山があり、海の幸と山の幸が豊富に揃います。また、唐揚げやソバなどの特産品も数多くあるのも特性です。

その中津の特性を活かした多種多様な食に関するイベントを開催することにより、世代に関係なくいろんな人が魅力を感じてくれるものと思います。

また、当道の駅の敷地内で、縄文時代の貴重な法垣遺跡が発見されており、これを遺跡公園として整備することで「縄文時代の暮らしとふれあう」ことができます。さらに、道の駅からは八面山の眺望を楽しむことができるといった、道の駅自体が観光資源と言えます。



(2) 農産物等直売所の商品のラインナップについて

道の駅では、「お客様が求める商品やサービスを提供し、その情報を届け、顧客がその商品を効果的に得られるようにする取り組み」が求められます。

地域型の利用者特性を踏まえた商品のラインナップを行う必要があります。



直売所の運営主体はJAですが、地元産を中心に、野菜、果物、花き、精肉、鮮魚など、多品目を予定していると聞いております。

また利用者のニーズに応えるよう特産品などの土産品の販売についてもJAと協議してまいります。

(3) 地産地消バイキング食堂の整備について

バイキング方式の食堂では、併設する直売所で旬の食材を仕入れることで、日替わり・週替わりのメニューを提供でき、注文・上げ膳・下げ膳等の手間がいらず人件費を抑えることができます。

また地域の女性達の創意工夫による展開が可能で、素人でも取り組みやすいなどのメリットがあります。

さらに、直売所の廃棄野菜等のリユースも可能となります。



ドライバーの休憩に伴う食事、観光客に対する中津の食のアピール、観光客に対するおもてなし等を考慮すると、食堂は早期に整備する必要があると考えており、現在、基本設計の準備をしております。

食堂の内容は、中津にゆかりのある食べ物が提供できる食堂とする予定ですが、方式は検討中です。直売所の野菜などのリユースは食堂の運営上の参考とさせていただきます。

(4) 道の駅の運営方式について

道の駅は、全国的には行政主導の第3セクターが管理・運営にあたるケースが多いと聞いています。

利益が出ているうちは良いのですが、いったん赤字運営に陥ると行政負担の上昇による投資の減少→施設の魅力の低下→利用者・売上の減少といった負のスパイラル現象に陥ることになります。



直売所甲子園日本一に輝いた
有限会社「道の駅たちばな」(八女市)

道の駅という施設の性格上、民間活力による運営が適しており、指定管理者制度を導入するべきと考えておりますが、現在、内部会議で検討をしております。

指定管理者制度を導入した場合、公募する他、任意指定として、既存組織の活用や新たな管理運営組織の立ち上げも候補の一つになると考えております。

駅長につきましては、地域活性化とまちづくり活動などの取り組みに意欲があり、且つ、経営感覚や企画力に優れた人材が必要です。今後、適正な人材確保に向けた選考方法を検討してまいります。

(5)JAの委託販売手数料について

農産物等直売所は、JAが市の土地を賃借して建設していますが、農家等が直売所に支払う委託販売手数料は、価格に転嫁され、出荷者・購入者に大きく影響します。

他の道の駅等では15%程度となっており、低く設定すべきと考えます。

そこで、誘致企業の優遇制度と同様の考え方で、一定期間土地賃借料を減免し、その分委託販売手数料を低く設定することはできないか。

市としましては、土地の賃借料や委託販売手数料の設定について、市民や利用者にとって有利となるよう設定したいと考えており、農産物等直売所の運営主体であるJAと協議します。



(6) 情報・休憩施設の機能について

私の訪ねた道の駅にある情報・休憩施設は物置状態で利用されていない施設が多く見受けられました。

中津の温泉観光をPRする足湯や遺跡展示コーナー、キッズコーナー、授乳室を設けては、

道の駅内に遺跡公園が存在することから、中津市内の遺跡マップや出土品の展示も考えております。「足湯」につきましては、温泉を活用した施設ではなく、管理経費の面からも設置は考えていません。

「キッズコーナー」の設置は、情報休憩スペース等の優先度から設置は考えておりません。授乳室は必要な施設であり設置する予定です。



6月定例市議会的一般質問の概要

2. 太宰府市との友好都市盟約の再締結

平成4年9月、旧耶馬溪町と太宰府市は友好都市盟約を締結し、太宰府市民政庁まつり、太宰府市ママさんバレーボール大会への参加、太宰府市ジュニアリーダーと耶馬溪ジュニア・ボランティア・リーダーとの交流会など、町民の相互交流や文化芸術、産業、観光、教育などさまざまな分野での交流を行ってきました。

このように親密な関係のあった太宰府市との友好都市関係が、平成17年3月の市町村合併により解消されています。



昨年の太宰府市民政庁まつり。
太宰府市長も歓迎していただきました。

東日本大震災を教訓として、同一災害で被災する可能性の低い自治体と親しい関係を持つ取り組みが全国で進んでいます。さらに、九州北部豪雨を踏まえて現地支援に駆けつけやすい近隣の自治体との関係も必要です。また、「学問の神様」菅原道真公と「学問のすすめ」の福澤諭吉先生との「学問のつながり」、旧耶馬溪町時代から続く、市民の相互交流や文化芸術、産業、観光など、さまざまな分野での交流を踏まえて、友好都市盟約書の再締結をすべきと考える。

現段階では、何か絆となるものにより、相互に理解を深め、尊重して信頼関係が構築できることによって、行政だけでなく、住民や団体を含めた相互の親善交流が実態として進めば、友好都市の協定を締結したものと同様の交流ができると考えています。

よって、包括的な協定でなく、必要に応じ個別の目的毎に協定を締結することにより交流を図っていきたいと考えています。



太宰府市民遺産第1号に
認定された「木うそ」

■他の議員の一般質問で明らかになったこと。

- ・7月1日より、風しんワクチンの接種に対し、妊娠を希望する夫婦、妊婦の夫に、上限5,000円／人を補助する。
- ・小中学校の風通しの悪い教室に、必要に応じて扇風機を配置していく。
- ・消防団員の確保のため、機能別消防団員を来年4月から創設する。
- ・今年度より、ふるさと納税をしていただいた方に、特産品を贈る。
- ・韓国晋州市(チンジュ)との友好都市については、早い時期に締結へ向けて取り組む。



活動日誌

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。
<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊オフィシャル
サイトで検索して下さい。



県政市政報告会 in 鶴居



中心市街地活性化研究会現地調査



北部校区なぎさサロン設立総会



耶馬溪につぼん酒をつくる会田植え



原水禁平和行進

ご清聴、ありがとうございました。